



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年1月31日

上場会社名 アズワン株式会社 上場取引所 東
コード番号 7476 URL <https://www.as-1.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井内 卓嗣
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 西川 圭介 (TEL) 06-6447-1210
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 68,651 | 4.1 | 7,533 | △8.6 | 7,871 | △6.5 | 5,422 | △7.0 |
| 2023年3月期第3四半期 | 65,919 | 6.7 | 8,239 | 31.9 | 8,415 | 30.7 | 5,829 | 26.8 |

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,134百万円(△14.4%) 2023年3月期第3四半期 5,998百万円(△3.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 149.79 | 149.58 |
| 2023年3月期第3四半期 | 156.15 | 155.93 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 94,266 | 65,088 | 68.9 |
| 2023年3月期 | 97,479 | 63,968 | 65.5 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 64,968百万円 2023年3月期 63,848百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 48.00 | — | 63.00 | 111.00 |
| 2024年3月期 | — | 50.00 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 62.00 | 112.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 96,600 | 5.7 | 10,330 | △9.4 | 10,710 | △8.0 | 7,350 | △9.4 | 203.04 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期3Q | 40,276,270株 | 2023年3月期 | 40,276,270株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期3Q | 4,072,743株 | 2023年3月期 | 4,088,337株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年3月期3Q | 36,197,686株 | 2023年3月期3Q | 37,330,530株 |

(注) 期末自己株式数においては、株式給付信託（取締役向け）及び株式給付型E S O P信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有している当社株式(2024年3月期3Q 90,494株、2023年3月期101,952株)を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| 3. その他 | 10 |
| 販売実績 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日、以下「当第3四半期」という)におけるわが国経済は、大企業を中心に賃上げが進みつつあることや、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けの変更による人流回復やインバウンド需要の高まり等から緩やかな景気回復がみられた一方で、円安の進行や人手不足に伴う消費者物価の上昇、中国経済の変調及び地政学リスクなどから予断を許さない状況が続きました。

このような事業環境のもと、当第3四半期の連結売上高は、686億51百万円(前年同四半期比4.1%増)となりました。

売上高増加要因としては、当社の主たるマーケットである研究や生産の現場において前年に引き続き需要が活発であり、WEB上の取扱商品が1,020万点を超え受注誘引力を増していること、eコマース関連を始めとした顧客のすそ野が広がっていることとの相乗効果でロングテール商品の売上が拡大していることが挙げられます。これらにより、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けの変更に伴う感染対策用品の減少を補うことができました。

収益性については、調達コストの上昇と並行して機動的なプライシングを実施しておりますが、メディカル部門においてコロナ禍の反動に伴い市況が低迷していることなどから、売上総利益率は前年同四半期比で若干低下しました。

販売費及び一般管理費については、売上高1,000億円の先を見据えた新物流拠点である阪神DCの開設による不動産賃借料等の増加、人材投資の一環として実施している賃上げによる人件費の増加等により、137億8百万円(同10.8%増)となりました。なお、計画対比では配送費等の削減等により抑制気味に推移しております。

この結果、営業利益は75億33百万円(同8.6%減)、経常利益は78億71百万円(同6.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億22百万円(同7.0%減)となりました。前年同四半期比で減益となりましたが、コロナ禍の沈静化等によるメディカル部門の反動減と阪神DC開設の固定費増が一時的に重なったことによるものです。

部門別の状況及び中期経営計画主要売上施策の進捗状況は以下のとおりです。

<ラボ・インダストリー部門>

大学、研究機関及び企業の研究部門等を対象とするラボラトリー分野では、官民ともに活発な研究活動が行われ、ラボ用消耗品、ピペット等の分析器具、高額分析装置等の売上が伸長しました。また、チャンネルとしては集中購買システム及びネット通販事業者向けの売上高が前年同四半期比13.9%増と当分野の成長を牽引しました。これらにより当分野の売上高は420億31百万円(同9.2%増)と堅調に推移しました。なお、6月30日より新たな連結子会社が加わり7月以降の当分野の売上に1.6%程度プラスに寄与しております。

また、製造現場等を対象とするインダストリー分野では、個人消費の持ち直しや供給制約の緩和などから工場稼働率の改善が見られ、クリーンルーム消耗品、計測機器等の売上が伸びました。チャンネルとしては、ラボラトリー分野と同様、集中購買システム及びネット通販事業者向けの売上高が同15.0%増と当分野の成長を牽引しました。これらにより当分野の売上高は141億52百万円(同6.5%増)となりました。

この結果、当部門の当第3四半期の売上高合計は561億83百万円(同8.5%増)となりました。

<メディカル部門>

医療機関や介護施設等を対象とするメディカル部門では、前年同四半期においてコロナ禍第7波及び第8波により、感染症法上2類相当として政府を含む各所より感染対策関連用品の大きな需要があったのに対し、当第3四半期では5類扱いの下で需要が沈静化したことや、政府における備蓄医療用物資の放出があり、反動減を余儀なくされました。一方、新規開業や設備更新に伴う収納什器やベッド類の売上は増加を示し、介護施設の事業継続計画（BCP）策定の義務化（2024年4月）に伴う引き合いも寄せられ始めております。この結果、当部門の当第3四半期の売上高は120億51百万円（同12.0%減）となりました。

<その他>

連結対象会社の株式会社トライアンフ・ニジュウイチは「Off Side」システム等により理化学機器・消耗品等のWEB購買業務代行サービスやシステム提供を行っております。主たる売上である購買システム利用による手数料収入は増加したものの、前年同四半期に一括計上した個社向け専用システムの売上の剥落分までには至らず、当部門の当第3四半期の売上高は4億16百万円（同4.3%減）となりました。

<中期経営計画－PROJECT ONE ver. 2.0－における主要売上施策の進捗状況>

中期経営計画で掲げる主要売上施策は以下のとおり推移しました。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) (百万円) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) (百万円) | 前年同四半期比 (%) |
|--------|---|---|----------------|
| eコマース | 17,309 | 19,980 | 115.4 |
| 海外事業 ※ | 3,708 | 3,755 | 101.3 |
| 合計 | 21,017 | 23,735 | 112.9 |

※海外事業の6割前後は中国現地法人の売上ですが、現地法人事業年度が1～12月のため、第3四半期連結累計期間には現地における1～9月の売上高を連結しております。

eコマースについては、ネット通販事業者向けや「AXEL Shop」等のオープンサイト系ECチャネルで、特にネット通販事業者向けにおいて掲載商品の拡大や各種連携により、当第3四半期の売上高は前年同四半期比13.4%の増収となりました。また、大手ユーザー向け集中購買システム「ocean」や販売店支援型ECシステム「Wave」といったクローズドサイト系ECチャネルにおいては、新規アカウントの増加、掲載商品の拡大、顧客側での研究施設拡充等により既存接続先の利用拡大が進んでおり、当第3四半期の売上高は同17.4%の増収となりました。

海外事業のうち中国については、ラインナップの充実や日本製バイオ関連装置の販促活動を行いました。経済停滞の影響もあり同1.5%の減収となりました（現地通貨ベースでは同3.4%減）。一方、日本からの海外への輸出（中国を除く）においては、多言語サイトの「AXEL GLOBAL」や「Wave GLOBAL」に掲載する取扱商品を約240万点に拡大した上、掲載情報の拡充に取り組んでおります。また、渡航再開に伴い現地販売店とのコミュニケーション強化を図って販促活動に注力してまいりました。これらにより海外への輸出は、同11.7%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

2023年6月30日より新たな連結子会社が1社加わり、連結貸借対照表の総資産ベースにおいて14億円程度加算されております。

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、942億66百万円（前連結会計年度末比32億12百万円減）となりました。このうち流動資産は、583億92百万円（同42億67百万円減）となりました。これは、主として現金及び預金が37億17百万円減少したこと、有価証券が7億99百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、358億74百万円（同10億54百万円増）となりました。これは、主として時価のある投資有価証券の変動等により投資有価証券が5億15百万円増加したこと、新たな物流拠点である阪神DCの設備投資等により建物及び構築物が1億72百万円増加したこと、上記連結対象会社の追加により土地が2億14百万円増加したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、291億78百万円（同43億32百万円減）となりました。このうち流動負債は、234億73百万円（同38億31百万円減）となりました。これは、主として未払法人税等が17億41百万円減少したこと、短期借入金が10億86百万円減少したこと、支払手形及び買掛金が10億17百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、57億4百万円（同5億1百万円減）となりました。これは、主として阪神DCの開設により資産除去債務が3億36百万円増加した一方、長期借入金が8億1百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、650億88百万円（同11億19百万円増）となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が4億59百万円減少した一方、利益剰余金が13億21百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日公表の業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 17,612,260 | 13,894,584 |
| 受取手形及び売掛金 | 21,437,544 | 20,022,692 |
| 電子記録債権 | 10,897,523 | 12,217,727 |
| 有価証券 | 1,000,000 | 200,723 |
| 棚卸資産 | 11,007,670 | 11,168,918 |
| その他 | 714,956 | 896,886 |
| 貸倒引当金 | △9,962 | △9,276 |
| 流動資産合計 | 62,659,993 | 58,392,256 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,644,891 | 2,817,600 |
| 土地 | 1,834,659 | 2,048,687 |
| その他（純額） | 3,215,995 | 3,232,329 |
| 有形固定資産合計 | 7,695,546 | 8,098,617 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 1,564,271 | 1,634,525 |
| 投資有価証券 | 20,492,715 | 21,007,894 |
| 繰延税金資産 | 86,907 | 93,730 |
| 投資不動産（純額） | 3,834,115 | 3,790,715 |
| その他 | 1,168,021 | 1,279,034 |
| 貸倒引当金 | △22,136 | △30,156 |
| 投資その他の資産合計 | 25,559,623 | 26,141,217 |
| 固定資産合計 | 34,819,441 | 35,874,361 |
| 資産合計 | 97,479,434 | 94,266,617 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 19,689,945 | 18,672,248 |
| 短期借入金 | 2,750,000 | 1,663,784 |
| 未払法人税等 | 2,217,975 | 476,614 |
| 賞与引当金 | 879,849 | 457,792 |
| その他 | 1,767,513 | 2,203,192 |
| 流動負債合計 | 27,305,283 | 23,473,633 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,437,500 | 2,636,046 |
| 繰延税金負債 | 906,000 | 879,920 |
| 株式給付引当金 | 147,542 | 84,001 |
| 役員株式給付引当金 | 58,233 | 58,233 |
| 退職給付に係る負債 | 122,518 | 134,659 |
| 資産除去債務 | 905,297 | 1,241,333 |
| その他 | 628,937 | 670,727 |
| 固定負債合計 | 6,206,028 | 5,704,920 |
| 負債合計 | 33,511,312 | 29,178,553 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,075,000 | 5,075,000 |
| 資本剰余金 | 4,337,748 | 4,350,932 |
| 利益剰余金 | 58,286,371 | 59,607,586 |
| 自己株式 | △9,989,561 | △9,916,160 |
| 株主資本合計 | 57,709,558 | 59,117,357 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,830,305 | 5,370,842 |
| 為替換算調整勘定 | 308,467 | 480,073 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,138,773 | 5,850,915 |
| 新株予約権 | 119,790 | 119,790 |
| 純資産合計 | 63,968,121 | 65,088,063 |
| 負債純資産合計 | 97,479,434 | 94,266,617 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 65,919,573 | 68,651,458 |
| 売上原価 | 45,303,347 | 47,409,058 |
| 売上総利益 | 20,616,226 | 21,242,400 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,376,725 | 13,708,983 |
| 営業利益 | 8,239,500 | 7,533,416 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 68,789 | 91,593 |
| 受取配当金 | 37,236 | 48,176 |
| 不動産賃貸料 | 322,186 | 322,984 |
| その他 | 17,073 | 41,235 |
| 営業外収益合計 | 445,285 | 503,990 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,104 | 3,745 |
| 不動産賃貸原価 | 138,656 | 136,222 |
| 為替差損 | 104,066 | 9,867 |
| その他 | 23,988 | 15,677 |
| 営業外費用合計 | 268,816 | 165,511 |
| 経常利益 | 8,415,970 | 7,871,895 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 30,844 | — |
| 特別利益合計 | 30,844 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,446,814 | 7,871,895 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,463,601 | 2,249,149 |
| 法人税等調整額 | 154,157 | 200,567 |
| 法人税等合計 | 2,617,758 | 2,449,716 |
| 四半期純利益 | 5,829,056 | 5,422,178 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 5,829,056 | 5,422,178 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 5,829,056 | 5,422,178 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △66,651 | △459,463 |
| 為替換算調整勘定 | 236,034 | 171,606 |
| その他の包括利益合計 | 169,383 | △287,857 |
| 四半期包括利益 | 5,998,439 | 5,134,321 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,998,439 | 5,134,321 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

販売実績

a. 部門別販売実績

| 部門 | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) | |
|--------------|--|--------|--|--------|
| | 金額(千円) | 構成比(%) | 金額(千円) | 構成比(%) |
| ラボ・インダストリー部門 | 51,796,460 | 78.6 | 56,183,863 | 81.8 |
| ラボラトリー分野 | 38,506,712 | 58.4 | 42,031,055 | 61.2 |
| インダストリー分野 | 13,289,748 | 20.2 | 14,152,808 | 20.6 |
| メディカル部門 | 13,688,311 | 20.8 | 12,051,546 | 17.6 |
| その他 | 434,801 | 0.6 | 416,047 | 0.6 |
| 合計 | 65,919,573 | 100.0 | 68,651,458 | 100.0 |

(注) 1. 部門別販売実績は、部門ごとに管轄する販売店への販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。

2. その他は株式会社トライアンフ・ニジュウイチのシステム利用料売上等であります。

b. 品目別販売実績

| 品目 | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) | |
|--------------|--|--------|--|--------|
| | 金額(千円) | 構成比(%) | 金額(千円) | 構成比(%) |
| 科学機器・装置 | | | | |
| 汎用科学機器・装置 | 6,907,400 | 10.5 | 7,871,424 | 11.5 |
| 分析、特殊機器・装置 | 12,783,413 | 19.4 | 13,004,918 | 18.9 |
| 物理、物性測定機器・装置 | 3,379,577 | 5.1 | 4,114,913 | 6.0 |
| 実験用設備機器 | 7,191,253 | 10.9 | 8,380,514 | 12.2 |
| 小計 | 30,261,645 | 45.9 | 33,371,770 | 48.6 |
| 科学器具・消耗品 | | | | |
| 汎用器具・消耗品 | 16,052,615 | 24.4 | 16,206,242 | 23.6 |
| 半導体関係特殊器具 | 6,536,508 | 9.9 | 6,926,249 | 10.1 |
| 小計 | 22,589,124 | 34.3 | 23,132,492 | 33.7 |
| 看護・介護用品 | 12,634,002 | 19.2 | 11,731,148 | 17.1 |
| その他 | 434,801 | 0.6 | 416,047 | 0.6 |
| 合計 | 65,919,573 | 100.0 | 68,651,458 | 100.0 |

(注) 1. 品目別販売実績は、当社の品目分類による品目ごとの販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。

2. その他は株式会社トライアンフ・ニジュウイチのシステム利用料売上等であります。